

平成26年8月5日

余 語 郁 朗

理 事 長 殿

アカプルコにおける活動及びタスコ視察結果について

標記について下記の通り写真を添えて報告します。

### 記

7月16日から28日までの間アカプルコでの活動及びタスコ市役所を訪問し当地の交通事情の実態については以下の通りです。

#### 1 当NPO法人のガテマラ代表との面会

学会でメキシコ市に出張で来ていたガテマラのランディバラ大学教授 SILVIA CASASOLA 博士とメキシコ市内で面会。ガテマラでの当NPO法人の活動要請については既に2年前に協力打診してあり、以降の現地での活動の進捗状況の説明を受けた。説明によればキーパーソンであった警察幹部が退職したため活動の準備が止まってしまい、そのままになっていることから、帰国後速やかに新たなキーパーソンを見つけるため各方面へ信頼できる協力者の確保に努めることを約束して頂けた。



右がランディバラ大学教授CASASOLA博士

#### 2 以前チアパス州で下宿させて頂いたチアパス州自治大学 MAURICIO ROSAS 教授及び SOFIA ROSAS 博士ご夫妻に4年ぶりに再会し当NPO活動について説

明しご理解を頂いたところ同州で当NPO法人による活動要請とそれに対する行政側への働きかけについて協力の申し出を受けた。



MAURICIO ROSAS 教授

左が SOFIA ROSAS 博士、右が CASASOLA 博士

### 3 アカプルコでの活動その1

ロヨラ大学付属高校において24人（生徒18人、教諭6人）を対象に交通事故の効果的な防止対策について討論会を約1時間半にわたり行った。

保養地アカプルコが抱える一番の問題は飲酒の機会が多く重大事故の大半は酒がらみによるもので、市民も飲酒運転は危険でいけないことは十分にわかっているがこれまでの習慣からなかなか脱しきれない状況にある。

アカプルコに限らずメキシコでは昼食や夕食の際にアルコールを口にすることから日本のように「飲んだら乗るな 乗るなら飲むな」というスローガンは正しいことは分かっているが市民には受け入れられていない。結論から言うと「取締りで痛い目に合わないとは理解できない。」という意見が多かった。

対象の生徒はどちらかと言えば富裕層の家庭の子供が多く、すでに運転免許を有している生徒もいたが道路交通法はあまり理解できていないようであった。アカプルコでは道路交通法の知識を問う運転免許試験が行われていない。（感謝状別添1を受理）

### 4 アカプルコでの活動その2

コレヒオ・フランシア小学校で児童48人を対象に交通安全講話を行った。毎回この小学校で交通安全講話を行っているので子供たちもリラックスして聞いており、またアレハンドロ校長の交通安全に対する熱意が高いことから子供たちの交通安全に関する知識も他校の生徒と比べ高い。

（感謝状別添2を受理）

## 5 タスコ市役所及び小学校訪問

### ア タスコ市役所

あらかじめアカプルコのアレハンドロ校長から面会を申し入れてあった FRANCISCO FIGUEROA AYALA 教育部長を訪問したところ部長自ら玄関まで出迎えて下さった。

部長によれば過去に一度大使館関係者（どこの国か尋ねなかった。）が当市を訪れ交通事情や交通安全教育について調査をされていかれたので、当市としても交通問題解決に向け大使館の協力が得られるものが多いに期待していたがその後何の連絡もなく今日に至っているとのことであった。

当NPO法人が当地で活動することになれば市を挙げて全面的に協力する意向である旨の発言があった。



向かって左から二人目が教育部長、右端はアレハンドロ校長

当地では、昔ながらの石畳の道で道路幅が狭く慢性的な交通渋滞に加え世界遺産であることから車社会に合わせて街並みを変えることができない。昔からの街並みを維持しながら視点を変えた抜本的な対策が必要である。

### イ 小学校訪問

C I D I 小学校校長 ALJANDRO ESTRADA 博士は子供の交通安全教育が未来の安全なタスコ市を創る上で必要なことである。また道路交通法についての記述内容が一般の運転者には理解が難しいことも問題である。

運転免許試験は欧米や日本などのように法律を理解していないと合格できないような問題を出すべきであるが、それを行うと運転で収入を得ようとしている多くの人が生活できなくなり免許試験制度を直ちに変更することは難しい問題である。

この学校は幼稚園と小学3年生までの教育を一貫して行っていた。



学校正門



中央が校長



小学3年生の授業風景



幼稚園の教室

## 6 メキシコ市の自転車の乗り方教育

おしりも安倍首相の来墨によりソカロ一面日本国旗とメキシコ国旗が飾られていた。そのソカロでは自転車の乗り方教室が行われており、何度もメキシコを訪れているが今回始めて見学する機会を得た。日本の子供たちに対する自転車教室とは内容はかなり違いどちらかというとも自転車に乗ることに主眼が置かれているようであった。



日本の自転車教室は自転車に乗れることが前提で、道路を模して信号や横断歩道などが設置され、道路交通法を守って安全に通行するための教室であるが、メキシコの教室では発進する場合の注意点や交差道路の通行方法や注意事項については教えられていなかった。



## 7 あとがき

今回は旅行時間を節約しようと成田からメキシコシティへの直行便を利用したが、隣席の赤ちゃんの泣き声で結局一睡もできず、また少しタイトなスケジュールと相まってメキシコ滞在中疲れが取れずキツイ出張であったが、アレハンドロ校長の万全な下準備により当初予想していた以上の成果を得ることができ、準備をして下さったアレハンドロ校長に感謝申し上げたい。



Acapulco, Gro., a 26 de julio de 2014

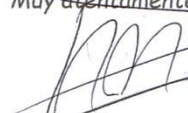
Mitsuaki Furuichi  
Director del CIPEV

Estimado Sr. Furuichi,

En nombre propio y de la comunidad educativa Colegio Francia, agradezco infinito la participación de CIPEV en los cursos de educación vial que impartió el señor Ikuro Yogo al personal docente y alumnos de este Colegio, los días 22 y 23 de Julio del 2014.

Sin otro particular, me despido de usted en la espera de futuras colaboraciones con el CIPEV, agradeciéndole todas sus atenciones.

Muy atentamente,

  
Alejandro H. Prieto  
Director

PODER EJECUTIVO DEL ESTADO



DIRECCION DE SEGUIMIENTO  
CONTROL Y EVALUACION  
DEPTO DE REV. DE ESTUDIOS E  
CORPORACION DE ESCUELAS  
COMUNICACIONES  
COMUNICACIONES  
COMUNICACIONES

(感謝状の要旨)

アカプルコ、ゲレロ州 7月26日2014年

交通安全国際支援センター  
理事長 古市 光明 殿

コレヒオ・フランシア小学校を代表し、交通安全国際支援センター主催、余語郁朗講師による22、23日の当校生徒への交通安全教育に対し感謝と貴法人との良好な関係を祈念し感謝状を贈呈します。

謹啓

アレハンドロ・プリエット校長